



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社バイテックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9957 URL http://www.vitec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 今野 邦廣
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二島 進 (TEL) 03-3458-4619
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	135,200	36.9	2,690	16.2	2,151	24.0	1,509	41.1
29年3月期第3四半期	98,746	△10.4	2,315	25.9	1,734	22.1	1,070	24.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,398百万円(△9.4%) 29年3月期第3四半期 1,543百万円(138.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	106.68	—
29年3月期第3四半期	77.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	80,416	16,147	19.5
29年3月期	63,939	15,131	23.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 15,717百万円 29年3月期 14,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
30年3月期	—	25.00	—		
30年3月期(予想)				30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,000	35.4	3,250	16.9	2,500	20.9	1,800	19.0	126.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	14,376,358株	29年3月期	14,376,358株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	153,646株	29年3月期	437,446株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	14,149,652株	29年3月期3Q	13,745,431株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(A) 経営成績

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比
売上高	98,746百万円	135,200百万円	136.9%
営業利益	2,315百万円	2,690百万円	116.2%
経常利益	1,734百万円	2,151百万円	124.0%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	1,070百万円	1,509百万円	141.1%

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が前年同期比で136.9%となり、デバイス事業、環境エネルギー事業、調達事業ともに売上が拡大しました。また、営業利益については前年同期比で116.2%となりました。

<当社グループの主な関連市場の状況>

(デバイス・調達関連)

デジタル機器関連	国内PC・スマートフォンは、需要の減少に歯止めがかかり、今後も横ばいで推移する見込み。薄型テレビは、買い替え需要と大型化、4K化による販売価格の上昇によって、今後も増加が見込まれる。デジタルカメラ市場は、高級機を中心に復調が見られる。
自動車関連	EV化と自動運転に向けた技術革新によって、蓄電池や半導体製品、各種センサー等の搭載が進み需要が高まる。
情報通信関連	クラウドコンピューティングサービスや、IoT、ビッグデータ市場の拡大により、データセンター向けメモリ需要が継続。サイバーセキュリティ市場も大幅拡大の見込み。

(環境エネルギー関連)

発電関連	固定買取価格の見直し等により、太陽光発電市場全体の成長は鈍化。その中で、農地で営農の継続を前提とした太陽光発電(ソーラーシェアリング)は社会の認知を獲得しつつある。風力発電や中小水力発電、バイオマス発電、地熱発電は、導入が進み始める。
新電力関連	新電力業者の全体シェアは販売電力量、販売額、契約口数ともに緩やかに増加傾向。燃料の価格高騰による仕入価格の変動、気候要因等による事業への影響が大きい。
植物工場関連	食の安全・安定供給等の観点から、植物工場野菜の需要が継続的に拡大。異業種からの事業参入も見られる。

(B) 経営成績 (セグメント別情報)

デバイス事業

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比
売上高	79,498百万円	96,941百万円	121.9%
セグメント利益	832百万円	1,084百万円	130.3%

デバイス事業の売上高は96,941百万円となりました。イメージセンサーの販売がスマートフォン向けに好調だったほか、メモリ製品についてはサーバーやTV向けを中心に伸長したことに加え、製品単価の上昇も売上増の要因となりました。一方、前年度好調だった指紋認証センサーの販売が減少しました。

環境エネルギー事業

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比
売上高	9,305百万円	10,134百万円	108.9%
セグメント利益	1,420百万円	1,551百万円	109.3%

環境エネルギー事業の売上高は10,134百万円となりました。電力小売事業が売上に貢献したほか、メガソーラー事業が堅調に推移し、当社として初めての営農型太陽光発電所も売電を開始いたしました。その結果、現在までに建設したメガソーラーは累計45カ所（前年同期は35カ所）となりました。また、完全密閉型の植物工場による安心・安全な野菜の展開も積極的に行っており、秋田県大館工場、平成29年9月に操業開始した石川県七尾工場は、フル稼働となり、着実に利益に寄与してまいります。3カ所目となる鹿児島県薩摩川内工場は平成29年11月に操業開始しており、来年度には石川県中能登町、秋田県鹿角市へと全国展開いたします。

小型風力発電につきましては、北海道天塩郡遠別町に1号機を竣工し、1月末から運転を開始しております。当社グループでは風況の良い北海道及び秋田県を中心に累計200機4MWの小型風力発電の設置を目指しており、さらに同一敷地内に太陽光発電設備を併設する等、土地の有効活用も進めてまいります。

調達事業

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比
売上高	9,943百万円	28,125百万円	282.9%
セグメント利益	62百万円	53百万円	85.4%

調達事業の売上高は28,125百万円となりました。車載向け液晶、エアコン用各種部材、冷蔵庫用コンプレッサーを始めとする輸入部材の取引および台湾現地法人におけるパソコン用部材の取引が売上高伸長に大きく寄与し、その他の取引も堅調に推移しました。また、パナソニックグループとの協業で培ったビジネスのノウハウを活かし、他の顧客においても新たなビジネスが決定しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から16,476百万円増加し80,416百万円となりました。これは主に売掛金及びたな卸資産が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末から15,460百万円増加し64,268百万円となりました。これは主に買掛金及び短期借入金が増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末から1,015百万円増加し16,147百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,737,980	5,004,762
受取手形及び売掛金	23,747,217	27,704,264
たな卸資産	15,839,111	21,823,027
繰延税金資産	379,885	173,527
未収入金	1,097,587	2,584,549
その他	639,072	1,996,677
貸倒引当金	△4,910	△13,404
流動資産合計	45,435,945	59,273,404
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	13,365,329	13,574,742
減価償却累計額	△2,061,907	△2,648,634
リース資産(純額)	11,303,421	10,926,108
その他	3,540,489	5,275,222
有形固定資産合計	14,843,911	16,201,330
無形固定資産		
ソフトウェア	768,283	677,401
ソフトウェア仮勘定	15,827	32,069
のれん	45,365	28,353
その他	8,200	8,200
無形固定資産合計	837,677	746,025
投資その他の資産		
投資有価証券	805,919	923,682
出資金	333,493	789,780
長期貸付金	107,908	103,074
繰延税金資産	106,290	120,008
その他	1,536,956	2,324,593
貸倒引当金	△68,588	△65,752
投資その他の資産合計	2,821,979	4,195,386
固定資産合計	18,503,568	21,142,742
資産合計	63,939,513	80,416,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,140,382	21,846,604
短期借入金	11,894,036	22,141,230
1年内返済予定の長期借入金	395,000	363,750
リース債務	757,630	790,251
未払金	4,222,565	4,106,073
未払法人税等	507,304	158,771
賞与引当金	239,421	118,514
その他	685,565	1,091,818
流動負債合計	35,841,904	50,617,013
固定負債		
長期借入金	808,686	1,759,779
リース債務	11,048,038	10,689,253
繰延税金負債	—	68,834
退職給付に係る負債	163,764	123,167
資産除去債務	724,164	741,390
その他	221,078	268,834
固定負債合計	12,965,732	13,651,259
負債合計	48,807,637	64,268,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,244,234	5,244,234
資本剰余金	2,515,123	2,694,562
利益剰余金	6,818,847	7,550,032
自己株式	△336,167	△151,464
株主資本合計	14,242,037	15,337,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,112	75,782
繰延ヘッジ損益	30,580	△61,347
為替換算調整勘定	423,840	366,085
その他の包括利益累計額合計	482,533	380,520
非支配株主持分	407,304	429,988
純資産合計	15,131,876	16,147,873
負債純資産合計	63,939,513	80,416,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	98,746,222	135,200,997
売上原価	90,845,583	126,539,721
売上総利益	7,900,639	8,661,276
販売費及び一般管理費	5,585,235	5,970,948
営業利益	2,315,404	2,690,328
営業外収益		
受取利息	1,653	2,814
受取配当金	1,834	2,841
匿名組合投資利益	67,716	75,708
持分法による投資利益	6,184	26,104
その他	110,008	123,286
営業外収益合計	187,397	230,754
営業外費用		
支払利息	376,011	553,490
債権売却損	64,735	137,526
為替差損	315,652	31,930
その他	11,418	46,663
営業外費用合計	767,817	769,611
経常利益	1,734,984	2,151,471
特別利益		
国庫補助金	—	14,000
固定資産売却益	6,296	—
特別利益合計	6,296	14,000
特別損失		
固定資産除却損	—	5,193
特別損失合計	—	5,193
税金等調整前四半期純利益	1,741,280	2,160,277
法人税、住民税及び事業税	557,015	382,684
過年度法人税等	32,360	—
法人税等調整額	46,798	275,488
法人税等合計	636,174	658,173
四半期純利益	1,105,105	1,502,104
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35,076	△7,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070,029	1,509,507

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,105,105	1,502,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,933	47,670
繰延ヘッジ損益	△302,225	△93,226
為替換算調整勘定	730,235	△58,080
その他の包括利益合計	437,943	△103,636
四半期包括利益	1,543,049	1,398,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,476,563	1,407,493
非支配株主に係る四半期包括利益	66,485	△9,025

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月25日付で、WPG Holdings Limitedを引受先とした第三者割当による自己株式の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が179,439千円増加、自己株式が134,280千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,694,562千円、自己株式が151,464千円となっております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	デバイス事業	環境エネルギー事業	調達事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	79,498,076	9,305,067	9,943,078	98,746,222	—	98,746,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	317,878	—	43,978	361,856	△361,856	—
計	79,815,955	9,305,067	9,987,056	99,108,079	△361,856	98,746,222
セグメント利益	832,410	1,420,050	62,942	2,315,404	—	2,315,404

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
2. 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	デバイス事業	環境エネルギー事業	調達事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	96,941,059	10,134,476	28,125,461	135,200,997	—	135,200,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,622	—	39,721	56,344	△56,344	—
計	96,957,682	10,134,476	28,165,183	135,257,341	△56,344	135,200,997
セグメント利益	1,084,743	1,551,808	53,775	2,690,328	—	2,690,328

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
2. 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。